

令和6年度 昭和村立昭和小学校 学力向上グランドデザイン

教育目標 豊かな心をもち、郷土を愛し、たくましく生きる児童の育成

<児童の実態・学力の状況>

- NRT学力検査の全学年偏差値平均（R 6.2月実施）
国語 53.1 算数 50.7
- オーバーアチーパー 4人
- アンダーアチーパー 1人

めざす子ども像
知:進んで学ぶ子ども
徳:高め合う子ども
体:きたえる子ども

共同研究 研究主題
自ら考え、伝え合う
児童の育成

<児童の実態・学習習慣>

- 学校評価アンケートから
AとB評価の児童（R5, 12月）
 - ・授業が楽しみ 96%
 - ・話し合いの仕方 92%
 - ・家庭学習 75%
 - ・読書習慣 79%
- 素直で、指示されたことに真面目に取り組む。自主的に家庭学習に取り組む児童もいるが、個人差がある。体験活動などを通して、自己肯定感を高めていくことが必要である。

	「わかる・できる」授業の確立	学びのサイクルの確立	学びの土台作り
PLAN	<ul style="list-style-type: none"> ○現職教育計画 ○授業スタンダードの活用 ○ICT機器使用に関する研修の実施 	<ol style="list-style-type: none"> ①「チャレンジタイム」の実施 ②「家庭学習のスタンダード」「家庭学習の手引き」の活用 	<ol style="list-style-type: none"> ①温かな学級風土の確立 ②読書習慣の定着 ③学習規律の確立 ④小中連携の推進
DO	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりに応じた指導の充実 ○学び合い伝え合う（話し合い）活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを持たせる工夫 ・自らの考えを表現させる工夫 ・教師のコーディネート工夫 ○授業研究会の実施 ○ICTの活用 	<ol style="list-style-type: none"> ①「チャレンジタイム」の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字・計算の練習とテスト ・活用力育成シート ②適切な宿題の提示と授業等での活用 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み例の提示 ・「家庭学習カード」の工夫 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳教育の充実（思いやり・規範意識の育成） ○特別活動等での相互理解の深化、自己肯定感の育成 ○QUアンケートの実施 ②朝の読書タイムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ○「家読」との関連 ○読書カードの活用 ○意欲を高める図書委員会活動 ③「学習のきまり」の活用 ④年間指導計画への位置づけ
CHECK	<ul style="list-style-type: none"> ◇週案での振り返り ◇学校評価アンケート ◇諸テストの結果分析（単元テスト、全国学調、ふくしま学力調査、NRT） ◇授業研究会・互見授業での授業記録 ◇授業研究会・互見授業の成果と課題について話し合い ◇ICT活用の振り返り（年度末に反省） 	<ol style="list-style-type: none"> ②毎日の宿題・自主学習チェック、提出の確認、未提出理由の分析と対応 ・学校評価アンケート 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳ワークシート、学校評価アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・QUアンケート結果の分析 ②読書状況の確認、学級だよりの啓蒙、読書カードの記入状況の確認、購入図書の紹介、学校評価アンケート ③学校評価アンケート
ACTION	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストごとに、個に応じた支援を具体的に検討し、実践する。 ・児童の学習状況や課題を把握し、次の目標や手立てを明確にする。 ・授業研究会等で協議により課題を明確にし、授業改善に生かす。 ・振り返りを生かした研修を実施する。 ・振り返りを基にしたICT推進の新たな取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> ①漢字・計算テストの結果を表彰し、保護者に周知する。 ・授業での補充、授業改善への活用 ②自主学習のよい取り組みを称賛し、掲示する。 ・未提出者への対応、家庭協力依頼 	<ol style="list-style-type: none"> ①課題を踏まえての道徳、学級活動、係・委員会活動等の見直し ②実施状況により、称賛、個別の支援、本の紹介（読み聞かせ）などの開催 ③状況により、全体及び個別に称賛と指導 ④中学校へのスムーズな接続についての工夫改善